

## 「のろまなローラー」



小出 小五 さく

山本 忠敬 え

福音館書店 1965年

こうしてさよならするんだね

日が長くなり、春がすぐそこです。きりん組さんとの  
お別れも近づいています。

また古い作品になってしまいましたけれど、前に取り上げた『しょうぼうじどうしゃじふた』と兄弟のよ  
うな作品、『のろまなローラー』を紹介します。

トミカで見たことあるでしょう？ 黄色いロードローラー。

ロードローラーは時速5キロくらいで、ゆっくりゆっくり走りながら地面を踏み固めていく作業をします。  
道路を造るとき大切な仕事です。

このロードローラーがゆっくりゆっくり動いていると、後ろから「ぶっぶっぶっ」「ぷっぷっぷっ」速い車た  
ちがやって来ました。さてどうなるか……。

出会う、別れて、また出会う、別れて、そしてまた出会う、さよなら……。

何かを考えて出会ったわけではなかったけれど、出会ったことで大切なことに気付いて、「さっきはごめ  
んなさい。ありがとう。」とお礼を言って別れていく車たちの可愛さに、そうだったね、「さよなら」と「ありが  
とう」は一つなんだ、と気が付きました。

速い車たちが行ってしまった後から、ロードローラーもゆっくりゆっくり登ります。

坂道の先には何が待っているのでしょうか。何が見えるのでしょうか。

それは、今はまだわからないから、だから楽しみですね。

どうぞ出発して下さい。

「ありがとう。さようなら。」

おまけですけど、仕事をしていないときのロードローラーは、セルフローダーやセーフティーローダーと  
いう大きな車が、おんぶするように背中に乗せて運びます。かわいいね。

2020年3月5日 梅崎啓子